

令和5年度丹波篠山市学力・生活習慣状況調査および、全国学力・学習状況調査の結果の概要

丹波篠山市学力・生活習慣状況調査および全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施されています。

以下に、今回の調査についての本校の分析結果をまとめました。この調査によって測定できるのは学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者・地域の皆様の理解と協力のもとに適切に連携を図りながら一層の指導上の工夫・改善に努めます。これからも本校の教育活動に対してご支援いただければ幸いです。

調査について

○丹波篠山市学力調査

- ・実施日 令和5年4月18日（火）
- ・本校対象学年 1年生・2年生
- ・調査教科 国語 数学（算数）
- ＊1年生は小学校までの学習内容
- 2年生は中1までの学習内容

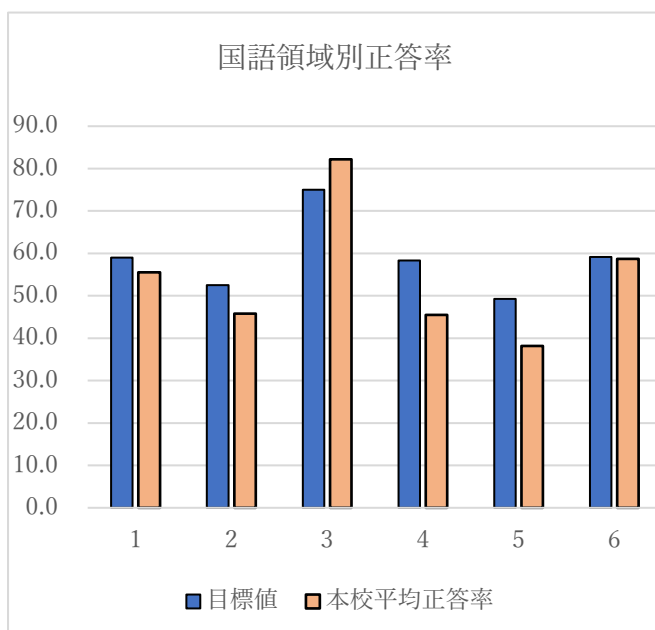
○丹波篠山市学習状況調査

- ・実施日 令和5年5月（日時はクラスにより異なる）
- ・本校対象学年 全学年

○全国学力・学習状況調査

- ・実施日 令和5年4月18日（火）
- ・本校対象学年 3年生
- ・調査教科 国語 数学 英語
- ＊中2までの学習内容
- 生徒質問紙調査

1年生国語



領域1：言葉の特徴や使い方に関する事項

領域2：情報の扱い方に関する事項

領域3：我が国の言語文化に関する事項

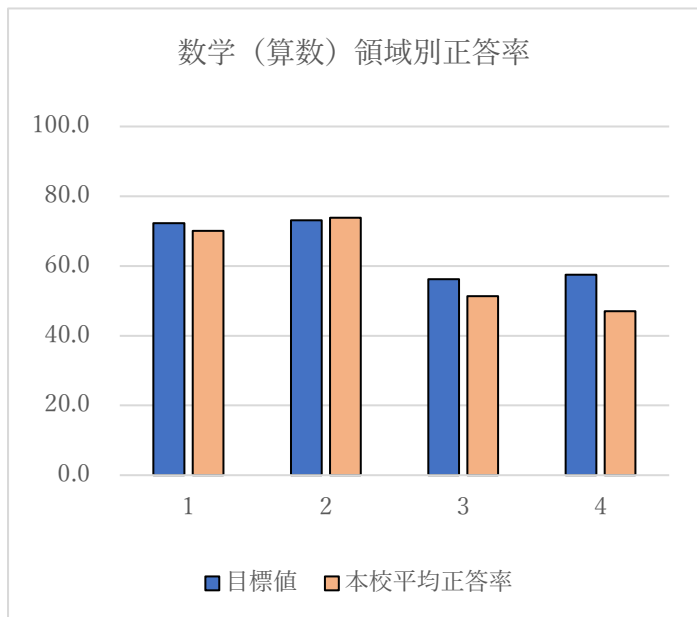
領域4：話すこと・聞くこと

領域5：書くこと

領域6：読むこと

1年生国語は、全体として目標値に対してやや下回る結果でした。我が国の言語文化に関する事項は目標値を上回りましたが、情報の扱い方、話すこと・聞くこと、書くことについては課題が見られます。これからの授業においては引き続き漢字練習帳の取組を進めるとともに教科書の語句を丁寧に確認し、漢字力と語彙力を高めていきます。また、作文の書き方指導や資料の読み取りに関する授業を繰り返し行うとともに、対話を通して自分の考えを深め、発表する機会を増やしていきます。

1 年生数学（算数）



領域 1：数と計算

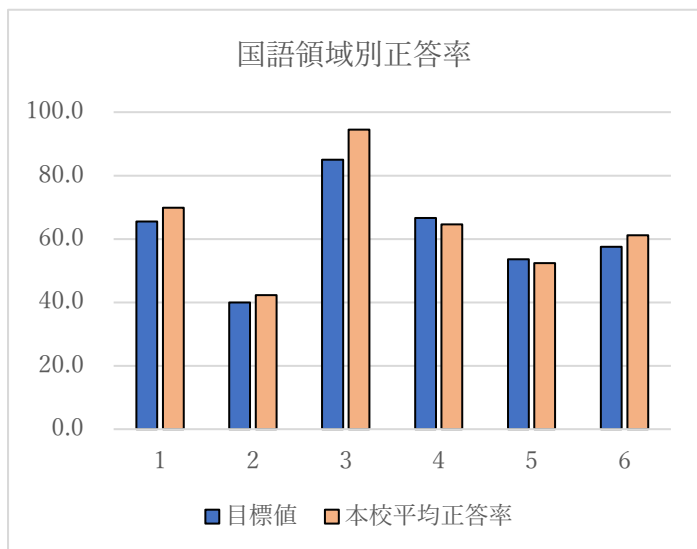
領域 2：図形

領域 3：変化と関係

領域 4：データの活用

1 年生数学（算数）は全体として概ね目標値と同程度でしたが、変化と関係、データの活用については下回っており、特にデータの活用については課題が見られます。これからの授業においては計算練習をくり返して行って数と計算の領域についてさらなる定着を図り、その上で事象から読み取れることを互いに交流する機会をもって活用力を高めていきます。また、定期的に単元テストを実施し、個人の理解状況を把握しながら個に応じた指導を丁寧に進めていきます。

2 年生国語



領域 1：言葉の特徴や使い方に関する事項

領域 2：情報の扱い方に関する事項

領域 3：我が国の言語文化に関する事項

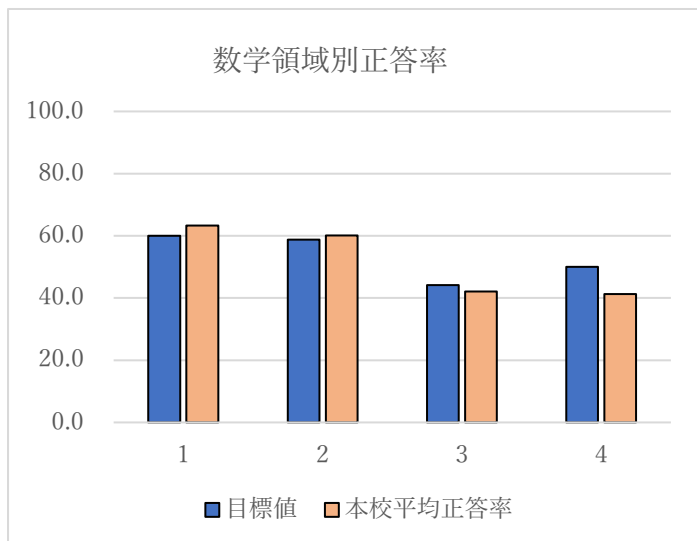
領域 4：話すこと・聞くこと

領域 5：書くこと

領域 6：読むこと

2 年生国語は、全体として目標値に対して同程度で概ね良好でした。我が国の言語文化に関する事項は特に上回っています。基本的なことは定着している様子が見られるので、これからも本校の授業スタンダードに則って学びを実感できる授業を進めていきます。同時に意見交流や書く作業の時間を確保することで一層の学力向上を目指します。

2 年生数学



領域 1：数と式

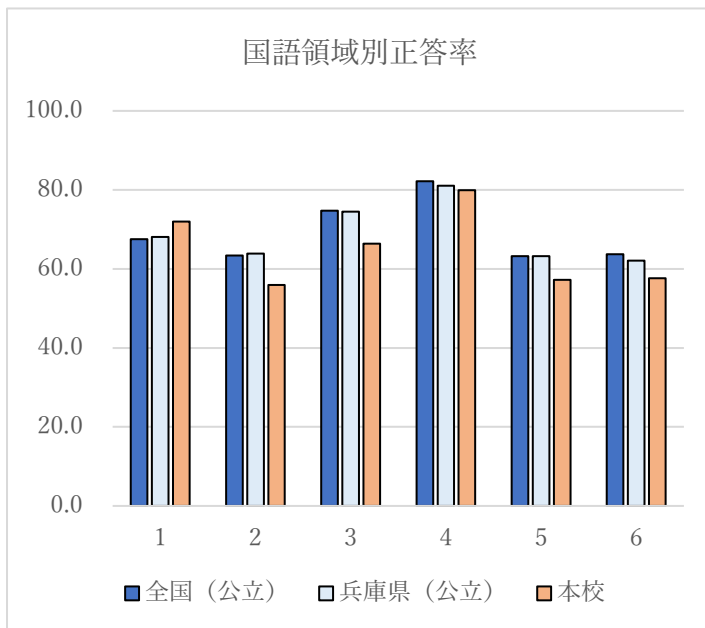
領域 2：図形

領域 3：関数

領域 4：データの活用

数学は、全体として目標値に対して概ね同程度の結果でした。しかし、データの活用については課題が見られます。思考力を身につけていくために、数量の関係などを図や表を使って視覚的に理解していく学習を増やしていきます。また、データの活用については小集団で気付いたことを発表しあうなど、幅広いものの見方を身につけさせる機会を多く持ち、互いに高め合う授業づくりを進めていきます。

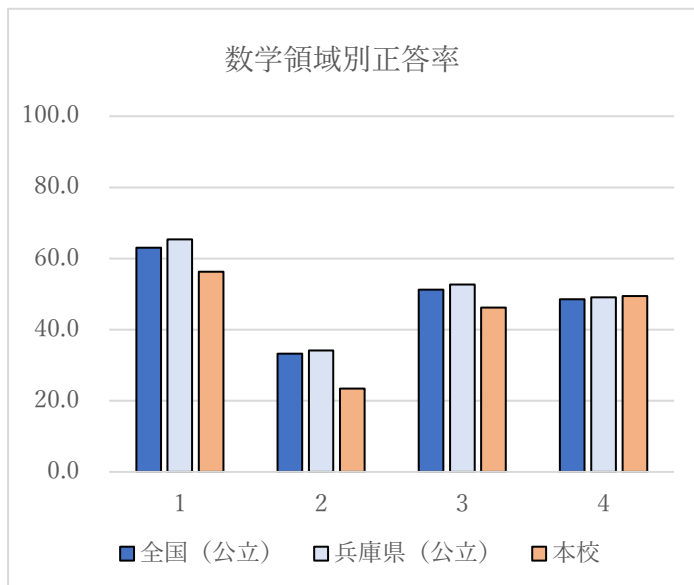
3 年生国語



- 領域 1：言葉の特徴や使い方に関する事項
- 領域 2：情報の扱い方に関する事項
- 領域 3：我が国の言語文化に関する事項
- 領域 4：話すこと・聞くこと
- 領域 5：書くこと
- 領域 6：読むこと

3 年生国語は、全国や兵庫県と比べて全体としてやや下回る結果でした。言葉の特徴や使い方で漢字の書き取りは良好であったので、毎週の漢字テスト等の成果が出ていると思われます。情報の扱い方や我が国の言語文化、書くこと、読むことについては課題が見られます。これからの授業では資料となる本文から筆者の主張や考えの根拠となることなどを丁寧に読み取り、自分の言葉でまとめたり、意見交流を活発に行ったりする機会を増やしていきます。

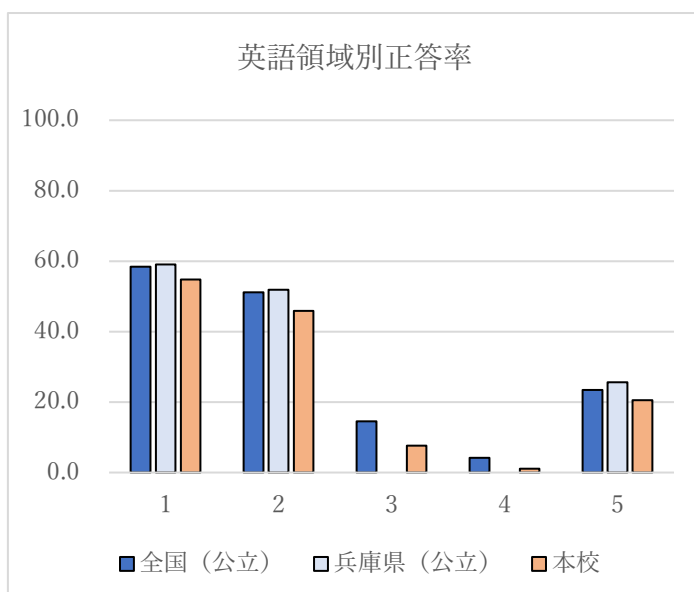
3 年生数学



- 領域 1：数と式
- 領域 2：図形
- 領域 3：関数
- 領域 4：データの活用

3 年生数学は、全国や兵庫県と比べて全体としてやや下回る結果でした。数と式、図形、関数に課題が見られますが、特に図形についてはその差が大きくなっています。今後の授業で平面図形・空間図形ともに基本的な図形の性質を再度復習し、理解を進めていきます。また、数と式では文字を使う計算練習を積み上げて計算力を高めます。関数に関してはグラフの読み取りなどで意見交流の機会を増やし、生徒自身が問題を解決していく力を伸ばしていきます。

3 年生英語

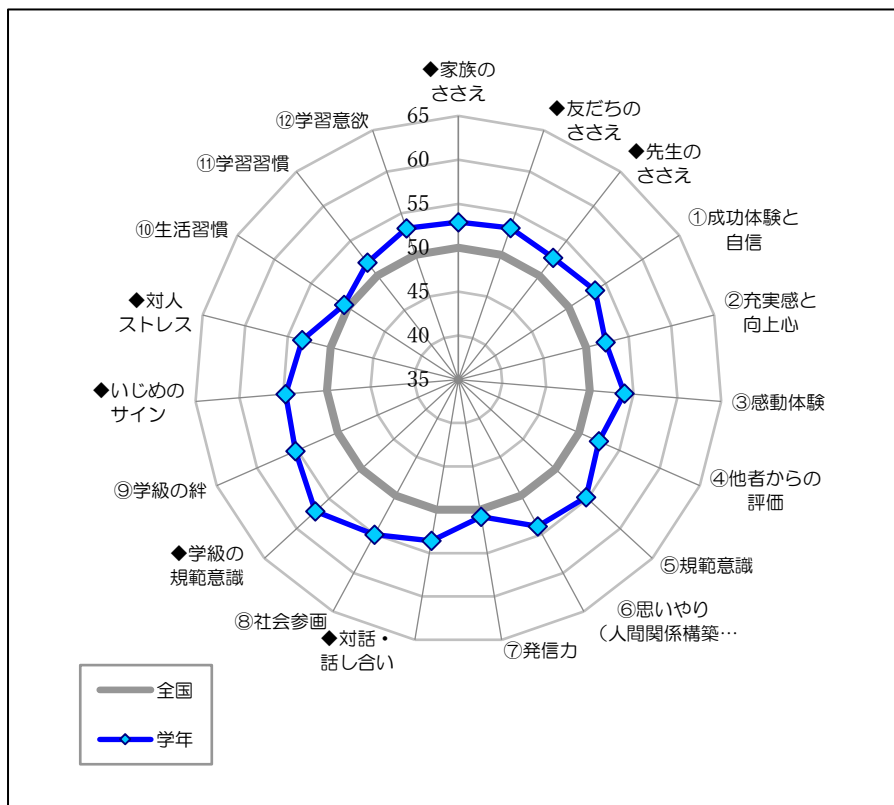


- 領域 1：聞くこと
- 領域 2：読むこと
- 領域 3：話すこと [やり取り]
- 領域 4：話すこと [発表]
- 領域 5：書くこと

* 領域 3・4 については県（公立）の結果提供なし

3 年生英語は、全国や兵庫県と比べて同程度かやや下回る結果でした。読むこと、話すことには課題がみられます。話すことは全国的にも正答率が低く、本校生にとっても大きな課題です。これからの授業では数多くの文章に接し、速読・精読の力を高めていきます。また、自分の考えを書いたり話したりする機会を増やし、ALT を活用して話すことや聞くことについても力を伸ばしていきます。

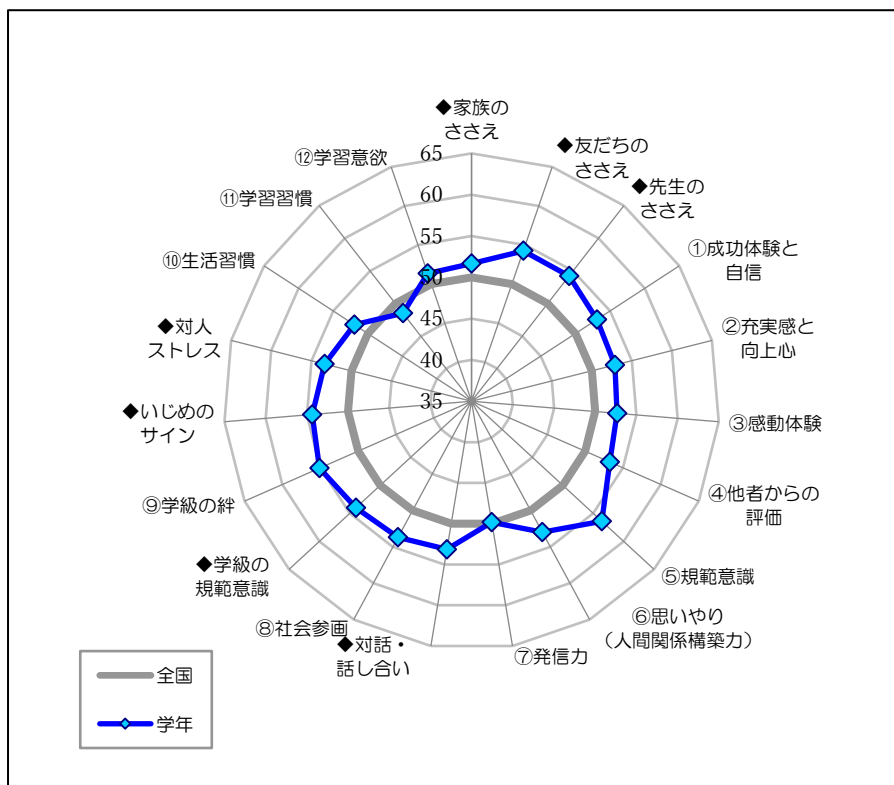
1 年生 市生活習慣状況調査 * 全国平均を 50 として結果を標準化しています



1 年生は全ての項目で全国平均と同程度か上回っています。規範意識も高く、周囲の支えもあって落ち着いた学校生活が送れていることがわかります。新しい環境の中で周囲と協力しながら将来への希望を持って生活している様子もうかがえます。

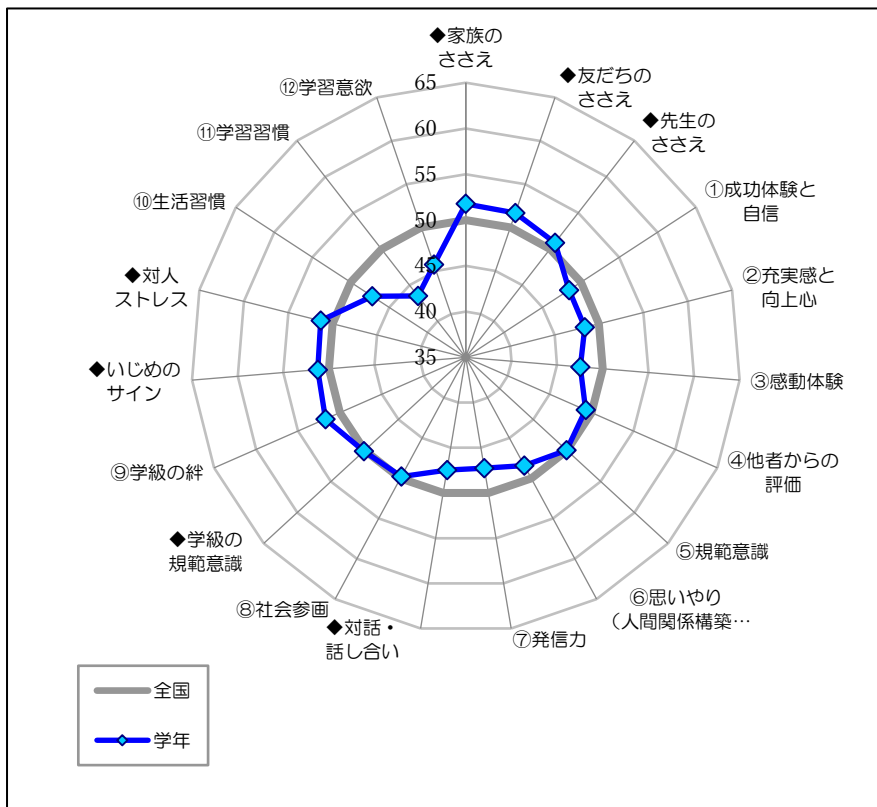
全国平均と同程度ですが、発信力や生活習慣、学習習慣が他より低めなので、日々の授業を大切に、望ましい生活習慣・学習習慣を身につけることが望まれます。自分の意見を大切にして、他者に伝えていく力も伸ばしたいところです。

2 年生 市生活習慣状況調査 * 全国平均を 50 として結果を標準化しています



2 年生はほとんどの項目で全国平均を上回り、良い環境の中で日々の生活を送れていることがうかがえます。特に規範意識が高く、落ち着いて授業を受け、円滑に学校生活を送っている普段の様子にもそれが表れています。

全国平均と同程度ですが、発信力や学習習慣は他よりも低いので自分の考えや意見を発信する機会を多く作っていきます。また、生活習慣や学習意欲は平均以上なので、学習習慣を定着させるために友だちや先生に相談しながら自分の学習方法を確認させていくことにも取り組みます。



3 年生は学級の絆やいじめのサインなどが全国平均を上回り、家族や友だち、先生の支えもあって落ち着いた生活ができているようです。しかし、自尊感情や自己肯定感がやや低めである様子がうかがえます。学校行事等で感動体験を積み上げ、対話を通じて日々の生活の中で自信を持たせ、一人一人が望ましい将来の自分を思い描いて目指せるようにこれからも取り組んでいきます。

また、生活習慣や学習習慣、学習意欲の項目が低いので、家庭とも連携し、進路実現と将来に向けての取り組みを進めていきます。

3 年生は全国学力・学習状況調査でも質問紙調査がありました。質問内容は若干違いますが、その結果も市の調査に照らし合わせると概ね同じ結果でした。全国との比較で有意な差が見られる項目として、いじめが悪いことだという意識、地域行事への参加、社会をよくしたいという意欲、ICTの活用等では全国平均を上回る値でしたが、将来の夢や目標を持つ割合、日々の学習時間、新聞や本を読む機会と時間、工夫して発表すること等は全国平均を下回っていました。

〔まとめにかえて〕

学力向上について

本校では「授業スタンダード」として、「1.目標理解、2.個人思考、3.集団思考、4.振りかえり」の授業に取り組んでいます。そしてその中で対話を重視し、個と集団を思考が行き来する「主体的・対話的で深い学び」を進めています。今回の調査を踏まえ、各学年各教科の実態に応じて更に工夫した授業づくりを進めていき、合わせてICTの活用や授業のユニバーサルデザイン化によって一人一人の力を伸ばしていけるように取り組んでいきます。

生活習慣等について

学年によって多少の差はありますが、概ね規則正しく落ち着いて前向きに生活ができていることはうれしいことです。地域行事等への参加率も高く、保護者の皆様や地域の皆様の支えがあることにも感謝いたします。

課題としてはSNSやインターネットの利用、ゲームや動画の視聴時間が長い傾向があげられます。トラブルにつながる危険性が高まったり、生活や学習面に影響が出たりすることが考えられます。どの学年も家庭での学習時間については全国平均より短い結果であったことにも関係していると思われます。家庭での生活習慣と学習習慣については保護者の皆様にもお子様と話し合ってくださいよう、お願いいたします。